

業 種	タクシー
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用
テ ー マ	ドライブレコーダー映像活用及び乗務員指導方策
取組の狙い	岩手県ハイ・タク交通共済協同組合の会員事業者が惹起した実際の事故事例等について、ドライブレコーダー（以下、「ドラレコ」という）のデータ収集、解析を行い、主にプロドライバーによる事故の特徴的傾向を把握する。また、本データを活用し乗務員等を対象としたDVDを作成し、安全教育の推進を図る。
具体的内容	<p>1. 岩手県ハイ・タク交通共済協同組合では、東北運輸局の指導の下に平成19年6月、加入組合員の全車両（約2100台）にドラレコの導入を図った。この結果、共済加入車両が惹起した事故、ヒヤリ・ハットデータの収集が可能となり、これらデータを基にドラレコ映像記録分析DVDを作成し、各組合に配布し活用を図っている。</p> <p>各組合管理者に対しドラレコの活用方法及び従業員に対する具体的な指導要領について知見を高めるとともに、乗務員に対する直接的な指導も行い教育効果の向上に努めた。</p> <p>2. 各事業者においては、組合規模の大小に関係なくDVDを活用して手軽に乗務員に対する指導教育を実施するとともに、必要に応じてヒヤリ・ハット情報に基づく個別・具体的な指導も実施し、効果を上げている。</p> <p>3. 東北運輸局、(独)自動車事故対策機構、県警察、県交通安全協会などの関係機関・団体に対し視聴覚教材として本DVDを寄贈し活用を図っている。</p> <p>4. 事故原因の究明等公共の安全上必要がある場合、県警察に対しドラレコデータの提供ができるように、共済組合と県警察本部との間で平成20年3月協定書を取り交わした。</p> <p>県警からは、事故原因は捜査事項であるということで提供されないが、必要に応じて、再発防止対策の指導を受けている。</p> <p>5. DVD構成内容</p> <p>①事故を防ぐ三要素・事故に繋がる三要素</p> <p>②予測・予知を妨げる要因</p> <p>③乗り心地と優しい運転等</p>
取組の効果	ドラレコ設置前（5ヵ年平均）と設置後（平成20年）の事故発生状況比較では、人身事故で30.3%減少した。
事業者名	岩手県ハイ・タク交通共済協同組合 沼崎専務 (連絡先：019-634-0611)